

第2回(2026年)通常総会議案書

新ハイキングクラブ 横浜支部

〔日時〕 2026年5月13日(水) 18:10~19:00

〔会場〕 神奈川県民センター 3階301号室

〔議事次第〕

1. 開会、議長選任
2. 議長挨拶
3. 議事録署名人選任
4. ≪審議事項≫の議案提案と質疑、採決
 - 第1号議案 2025年度 事業報告承認の件・・・・・・・・・・2頁
 - 第2号議案 2025年度 決算報告承認の件・・・・・・・・・・4頁
 - 第3号議案 2026年度 役員及び運営委員の選任の件・・・・・・・・6頁
5. ≪報告事項≫の報告と質疑
 - I 2026年度 事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・7頁
 - II 2026年度 予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・8頁
6. 閉会挨拶



2026.3.1 おでん・焼鳥山行 鷹取山の集合写真

19:10~21:00 引続き2026年5月例会にご参加ください。

《審議事項》 第 1 号議案 2025 年度 事業報告承認の件

1. 支部山行の実施状況

(1) 支部山行実績

2025 年度の支部山行実績は下表のとおりでした。

支部山行企画回数は 85 回(月平均 7.1 回)、実施回数は 66 回(月平均 5.5 回)、実施率は 77.6%となっています。企画回数は前年度比微減で、実施回数は天候その他の要因もあって前年度と比べ大きく減少し、月平均実施回数も 6.2 回から 5.5 回へと減少しました。

一方、支部山行参加数は 972 人と史上最高(?)を記録、前年度比 53 人増となっています。支部山行ではありませんが、2 月から 7 月まで毎月実施された塔ノ岳への夏山訓練山行や、会員公開された個人山行を 19 件(5 件増)ご案内いただきましたので、総じて、前年度に引き続いて旺盛な山行活動が実施されたと評価できます。

他方、1 回あたりの平均参加者数は 14.7 人で、前年度と比べ 1.8 人増となっています。募集人数を大幅に超える山行も多数あり、会員の参加機会の確保をいかに果たすべきかの検討が求められました。また、1 回あたりの参加者数が 30 人を超える山行もあり、安全管理面での課題を残してもあります。

増加傾向が続く会員のご要望に応えうる、山行企画の更なる充実強化が強く求められました。

	2025 年度実績	2024 年度実績	前年比較
支部山行企画回数	85 回	89 回	－4 回
支部山行実施回数	66 回	74 回	－8 回
支部山行実施率	77.6%	79.8%	－2.2%
支部山行参加者数	972 人	919 人	＋53 人
1 回あたりの平均参加者数	14.7 人	12.9 人	＋1.8 人

(2) 山行リーダー(山行係)の状況

山行企画の更なる充実強化には、山行リーダーの担い手を増やしていくこと、とりわけ女性リーダーの増加が不可欠です。その点に関しては、2024 年度は 15 人の山行リーダーに担っていただきましたが、2025 年度は新たに 5 人の方(小泉さん、中居さん、大西さん、小黑さん、梶本さん)に加わっていただき、19 人の山行リーダーに担っていただきました。これによって、女性リーダーも従来の 4 人から 7 人に増加しました。

以上のように一定の前進は図られましたが、山行リーダー個人の負担を軽減しつつ若返りを果たし、多種多様な山行企画を遂行するためには、引き続き山行リーダーの担い手を質量ともに増やしていくことが喫緊の課題となっています。その課題を遂行するため、2025 年度にはじめての取組みとして、山行委員が主催する山行リーダー育成の学習会が開催されました。

2. 支部会員の状況と支部の機関運営

(1) 支部会員の状況

2025 年度末の支部会員数は 131 名でした(会費未納による退会者を含みません)。2025 年度の入会者は 33 名、退会者は 28 名、差引 5 名の増加となりました。但し、退会者には会費未納による退会者 17 名が含まれておりますので、実質的な増加数は 22 名でした。。

新入会キャンペーンを実施した 2023 年度以降のこの 3 年の入会者数は、2023 年度の 60 名、2024 年

度の41名、2025年度の33名という推移となっています。新入会キャンペーン当初には及びませんが、友人・知人への呼びかけや、ホームページをご覧いただいた方々が月例会に参加され、体験山行にも参加されて入会される方が、毎月コンスタントに続いています。

新入会の皆さんは、登山経験が豊富な方からハイキング初心者までと多種多彩で、支部山行には積極的にご参加いただいております。

支部会員の平均年齢は、比較的若い方の入会もあり若干の若返りが進み、また、女性の入会者が多い傾向にありますので、会員の女性比率が高まりつつあります。

(2) 支部の機関運営の状況

2025年度には、2024年10月制定の「会則」に基づき、第1回通常総会を2024.5.14に開催し、出席議決権総数89票がすべて「賛成」で全議案が承認され、新たな体制による2025年度がスタートしました。

また、支部長を補佐して支部運営の日常執行を司る運営委員会は、定例の年間4回(うち2回は拡大委員会)のほか、臨時運営委員会も随時開催するなどして、臨機応変の諸課題検討を重ねることにより、運営委員会を軸にした合議制の機関運営の定着が進みました。

支部運営の基本は月例会にあります。月例会の年度平均出席率は、2023年度が47%、2024年度が43%、2025年度が40%と多少の減少傾向にあります。但し、会員数が増加傾向にあることもあって、出席者数に大きな変化はありません。

その中で、月例会での質問や意見表明がしづらいとの声も聞こえており、別途、会員の忌憚ない意見を聞く場づくり(定期的なアンケートなど)の検討が求められています。

3. 支部運営にかかる特記事項

(1) 支部創立70周年記念事業

2025.7.18の臨時運営委員会において、支部創立70周年記念事業の検討が行われ、以下の3点を実施していくことが決定されました。夫々について準備委員会や編集委員会が設けられ、2026年度上半期中にその具体化作業が推進される予定となっています。

◆支部集中山行の実施(鎌倉・大平山への複数コースを設定)

◆初の「海外登山」の実施(台湾・玉山)

◆羊歯第36号(創立70周年記念号)の発刊

なお、会員から支部創立70周年を祝う会ができないかとの提起もあり、これについても具体化検討が進められております。

(2) 新ハイキングクラブとの連携など

4/13の本部集中山行は雨天で中止になり、9/15に「高尾公園イベント会場」で実施されました。当支部も「戸倉城山～高尾公園イベント会場」で参加しました。

代議員会が4/23、7/22、10/22、1/29に開催されました。1/29の会議では、2026年度の本部集中山行が「青梅・梅の公園イベント会場」で実施する事が決まりました。代議員会での審議事項は、逐一、支部ニュースを通じて報告してきました。

支部長会は5/13、10/21、1/29に開催されました。開催概要は上記と同様に、支部ニュースを通じて報告してきました。

なお、今年度より、毎月の支部ニュース FREE BOAD 欄に『さあ、ハイキング!』を紹介してきました。

《審議事項》

第2号議案 2025年度 決算報告承認の件

令和7年度収支決算報告書(2025年4月1日～2026年3月31日)

一般会計 収入の部

単位:円

コード	項目	2024年度	2025年度	差	備考
01	今期会費前期納付分繰入	279,300	332,400	53,100	2024年度当期会費
02	今期新規入会者会費他	94,300	79,600	▲14,700	新入会員の納付会費
03	繰入金	540,841	445,684	▲95,157	2024年度特別会計残高を一般会計へ繰入
04	預り金	336,300	351,600	15,300	2026年度会費の納付
05	雑収入	98	5,351	5,253	貯金利息
入金合計		1,250,839	1,214,635	▲36,204	

預り金を除く収入 914,539 863,035 51,504

一般会計 支出の部

単位:円

コード	項目	2024年度(A)	2025年度(B)	差(B-A)	備考
10	謝金	18,000	18,000	0	支部長/会報係/HP編集係・本部会費
11	旅費交通運搬費	37,514	42,338	4,824	本部会議、運営会議交通費
12	用紙代	4,939	8,074	3,135	支部ニュース用紙代
13	コピー・印刷費	154,139	116,133	▲38,006	支部ニュース印刷プリンター、トナー代等
14	郵送料	43,404	35,620	▲7,784	支部ニュース発送料等
15	施設等使用料	42,720	53,850	11,130	月例会、運営委員会会議室使用料
16	ホームページ運営管理費	13,200	13,200	0	サーバー使用料
17	消耗品費	2,140	11,098	8,958	封筒代等
18	保険料	4,600	18,000	13,400	本部集中/合同山行の参加者保険料
19	山行係補助費	27,200	27,300	100	山行リーダー実施への補助
20	雑費	24,399	5,358	▲19,041	ゆうちょ銀行手数料等
21	永年会費表彰費	2,000	0	▲2,000	
22	周年記念事業費	94,600	0	▲94,600	
支出合計		468,855	348,971	▲119,884	
収支差額/剰余金		781,984	865,664	83,680	

繰越	余剰金	445,684	514,064	68,380	
	預り金	336,300	351,600	15,300	
合計		781,984	865,664	83,680	

財産変動

単位:円

項目	2024年度末	2025年度末	差
期末現金	900	14,247	13,347
普通貯金残高	781,084	851,417	70,333
定期預金残高	0	0	0
合計	781,984	865,664	83,680

補足説明

- 1.前期から特別会計を廃止し、前期残高を一般会計の繰入金に計上した。
- 2.会員数が入退会により多少増減があるが、引き続き、130名を超えており、会費収入も安定的なものとなっている。
- 3.支部ニュースのコピー・印刷について、レーザープリンターからインクジェットプリンターへの変更により、費用が大幅に削減となった。
- 4.預り金を除いた今期の実質的収支は、収入863,035円に対し、支出が348,971円で、余剰金が514,064円となったが、前期余剰金445,684円に対し68,380円の増加となった。
- 5.財産全体としては、収入が36,204円の減収となったが、支出が119,884円と減少したため、83,680円の増加となった。

以上の通り令和7年度の会計収支決算報告します。

会計係

中 村 淳



令和6年度の会計報告について監査したところ報告書に相違ないことを認めます。

会計監事

佐 藤 哲 夫



審議事項》

第 3 号議案 2026 年度 役員及び運営委員選任の件

新ハイキングクラブ横浜支部「会則」に基づき、2026年度役員及び運営委員の選任行いますので、以下にてご審議をお願いいたします。

《役員候補者》

役員	人数	氏名	備考
支 部 長	1 名	足立 忠彦	2025 年度支部長。立候補募集期間中に立候補者がおらず、「支部長選任規程」に基づき 1/27 の臨時運営委員会で支部長候補者となる。留任。
副支部長	2 名	井上 忠秋	2025 年度副支部長。会則第 8 条の 2 に基づき上記支部長候補者から指名された。留任。
		桜井 素子	2025 年度副支部長。会則第 8 条の 2 に基づき上記支部長候補者から指名された。留任。
会計監事	1 名	西川 重昭	元運営委員(2016 年度～2024 年度、印刷係と書記係を歴任)。会則第 8 条の 2 に基づき上記支部長候補者から指名された。新任。

《支部長候補者が指名した運営委員》

担当係	氏名	備考
会場係	松岡 富枝	再任
会報係	小嶋 幹雄	再任
	多田 みどり	新任
印刷・発送係	高橋 昇	再任
山行委員	久保 正文	再任
	大西 秀輝	新任
会計係	中村 淳	再任
保険・名簿係	中島 百合子	新任(担当係変更)
書記係	若生 典男	再任
本部連絡係	梶本 弘子	再任
Web サイト係	久保 正文	再任・山行委員兼務
月例会受付係	三浦 久美子	再任
	小川 美香	新任
入会対応係	中居 利雄	再任

なお、上記提案の補足ですが、2026年度の運営委員会は上記で提案された、役員(支部長、副支部長、会計監事)と運営委員によって構成されます。

《報告事項》

I 2026 年度 事業計画

1. 支部山行関連事業

(1) 2026 年度支部山行計画

支部山行の企画回数は、4 月から来年 1 月まで 87 回計画されています。2 月、3 月の予定を加えると 100 回程度になります。また、個人山行としてウォーキング、訓練山行なども企画され、昨年より大幅に増えております。会員も増えておりますので、要望に応じて実施したいと考えています。

今年は支部創立 70 周年を迎えます。10 月 12 日に鎌倉の大平山での集中登山を行いますので、多数の参加をお願いします。又、初めての海外登山、台湾・玉山も計画しました。

恒例の忘年山行は、今年度はアニバーサリー年なので行いません。

(2) 山行リーダー

山行リーダーの高齢化が進んでいます。山行リーダーの担い手を募集しています(特に女性リーダー)。今年度も、新しい山行リーダーが 4 名が加わりました。足田春利さん、木下裕一郎さん、棟方千恵子さん、小林誠一さんです。宜しくお願いします。

一つの山行に 20 人を越える山行が増えていきます。リーダーの負担軽減の為、参加者には班長などの役割を担い、団体行動を取る、他の登山者の迷惑にならない等の協力をお願いします。

2. 支部運営関連事項

(1) 支部運営体制

本総会後に支部運営委員会の新体制が発足します。会計監事の佐藤哲夫様、保険・名簿係の小澤勝太郎様が退任されます。お二人には、長年、支部運営にあたって多大なご尽力を賜り、厚く御礼申しあげます。また、山行委員・会報係を、業務の負担軽減とスムーズな引き継ぎの為に、2 人体制にしました。

(2) 支部創立 70 周年事業

今年は支部創立70周年です。記念事業として支部集中山行(鎌倉・大平山)、海外登山(台湾・玉山)、羊歯第 36 号の発行、祝賀会などを行います。(第1号議案「2025 年度事業報告承認の件」参照)

3. 新ハイキングクラブ関係事項

(1) 支部長会・代議員会

支部長会は、5 月、10 月、1 月に開催予定で、代議員会は、4 月、7 月、10 月、1 月に開催予定です。

(2) 本部集中山行と本部支部合同山行

今年の本部集中山行は、4/12 青梅・梅の木公園 で開催されました。また、本部支部合同山行を例年通り春秋 2 回(5/6 武山・三浦富士、10/29 金比羅山・日の出山)実施しますので、よろしくご協力をお願いします。

《報告事項》 Ⅱ 2026 年度 予算

一般会計 収入の部

単位:円

コード	項目	2026年度予算	2025年度実績	2025⇒2026 増減	2026年度予算備考
	会費収入合計	428,350	412,000	16,350	
01	前期納付分会費	351,000	332,400	18,600	前期 117 名の納付額
02	新規入会者分会費	77,350	79,600	▲2,250	遅延納付分+新入会者 30 人想定
03	繰入金	514,064	445,684	68,380	前期余剰金
05	雑収入	5,351	5,351	0	利子・プリペイドカード払戻金
	収入の部合計	947,765	863,035	84,730	
04	預り金	393,600	351,600	42,000	
	次期会費納付金	393,600	351,600	42,000	R8 年度末会員 127 名想定
	本部交付金	0	0	0	制度廃止

一般会計 支出の部

単位:円

コード	項目	2026年度予算	2025年度実績	2025⇒2026 増減	2026年度予算備考
10	謝金	18,000	18,000	0	例年通り・支部長の本部会費
11	旅費交通運搬費	47,014	42,338	4,676	支部長会、支部委員会交通費
12	用紙代	5,280	8,074	▲2,794	支部ニュース用紙他
13	コピー・印刷費	30,000	116,133	▲86,133	レーザーからインクジェットプリンターへ変更したため、大幅減額
14	郵送料	31,430	35,620	▲4,190	支部ニュース発送料他
15	施設等使用料	53,850	53,850	0	例会・運営委員会会場費
16	ホームページ運営管理費	13,200	13,200	0	サーバー使用料更新
17	消耗品費	10,000	11,098	▲1,098	事務用品(封筒代)
18	保険料	18,000	18,000	0	本部/合同参加者保険料
19	山行補助費	50,300	27,300	13,000	山行リーダー補助・下見補助
20	雑費	540	5,358	25,182	ゆうちょ銀行手数料・新人歓迎費
21	永年会費表彰費	6,000	0	0	対象者3名
22	70 周年記念事業費	300,000	0	200,000	羊歯出版費用、70 周年記念式典他
23	本部団体会費	0	0	0	制度廃止
24	予備費	0	0	0	
	支出の部合計	583,614	348,971	234,643	
	差引収支(当期剰余金)	364,151	514,064	▲149,913	
	繰越金合計(剰余金+預り金)	757,751	865,664	▲107,913	

補足説明

1. 会費収入は会員数は入退会があり、横ばいと予想。新会員は2025年度33名並みの 30名程度と想定した。
2. 収入全体としては会費収入増加よりも剰余金(繰越金)の減少が上回る為、減額すると想定。
3. 預り金は今期末に納付する2027年度会費だが、期末 127 名の会員数想定で計上した。
4. 定型的支出は例年通りの内容を状況に合わせて微調整したが、特にコピー・印刷費はレーザーからインクジェットプリンターに変更のため、大幅減で計上している。
5. 本年度は、特別に 70 周年記念事業の羊歯出版、記念式典のため、計上している。